「第２期愛知県アルコール健康障害対策推進計画」の進捗状況

１　計画の期間・基本目標

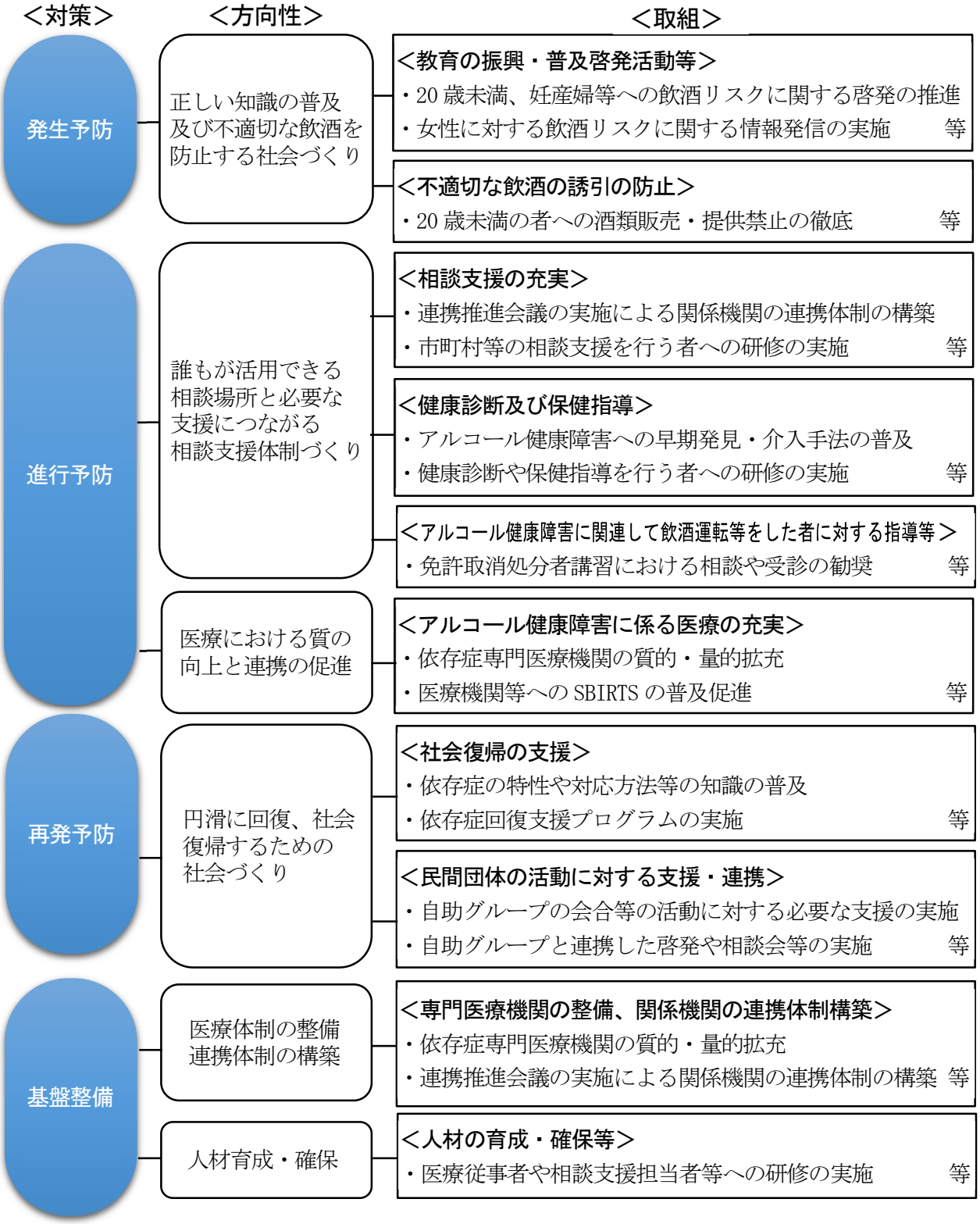
（１）計画の期間

2024 年度から 2027 年度までの４年間

（２）基本目標

アルコール健康障害の発生、進行及び再発の予防並びに当事者及びその家族への支援の充実により、誰もが健康で安心して暮らすことのできる社会の実現を目指す。

（３）計画の体系



資料１

２　重点目標

（１）　飲酒に伴うリスクに関する知識の普及を徹底し、将来にわたるアルコール健康障害の発生を予防する。

目標項目（指標）		ベースライン値（2022 年度）	直近値※2	目標値（2033 年度）
①生活習慣病のリスクを高める量※1を飲酒している者の減少（当該者の割合の減少）	男性	12.3%	―	10.7%以下
	女性	8.7%	―	6.1%以下
②20 歳未満の者の飲酒をなくす（16～19 歳の飲酒をしている者の割合の減少）	男性	3.0%	―	0%
	女性	1.3%	―	0%

※１　一日あたりの純アルコール摂取量が男性 40g 以上、女性 20g 以上
※２　本指標は愛知県生活習慣関連調査を用いており、次回愛知県生活習慣関連調査は 2028 年度に実施予定。

（２）　アルコール健康障害に関する予防、相談、治療、回復支援に至る切れ目のない支援体制を整備する。

＜目標項目＞

①　全ての県保健所において、アルコール関連問題に対応する地域の関係機関の連携体制を構築する。

指標とする内容	ベースライン値（2022 年度）	直近値（2025 年度）	目標値（2026 年度）
連携推進会議、事例検討会等の開催保健所数	６保健所	11 保健所	全ての県保健所（11 保健所）

②　ＳＢＩＲＴＳ※の普及促進を図り、一般医療機関や専門医療機関及び自助グループ等の連携を強化する。

指標とする内容	ベースライン値（2022 年度）	直近値（2025 年度）		目標値（2026 年度）
		研修受講者数	延べ人数	
医療従事者等を対象とした研修受講者数（延べ人数）	504 人	143 人	965 人	900 人

※SBIRTS とは
Screening：スクリーニング　　Brief Intervention:簡易介入
Referral to Treatment：専門医療機関への紹介　Self-help groups：自助グループへ紹介

③　アルコール依存症に対する適切な医療を提供することができる専門医療機関を指定し、医療体制を整備する。

指標とする内容	選定権者	ベースライン値（2022 年度）	直近値（2026 年度 ※2026.4.1 現在）		目標値（2026 年度）
		選定数	選定数	医療機関名	
専門医療機関の指定	愛知県	６か所	９か所	桶狭間病院藤田こころのケアセンター 刈谷病院・南豊田病院・可知記念病院 岩屋病院・上林記念病院・布袋病院 犬山病院・共和病院	11 か所
	名古屋市	４か所	６か所	八事病院・西山クリニック・紘仁病院 愛知県精神医療センター・ 一ツ山クリニック・あつた白鳥クリニック	